

【飯田市とオリコンサルら デジタル技術実装へ連携 リニア時代の都市サービス高度化】



オリエンタルコンサルタンツとアイサンテクノロジー（名古屋市長、加藤淳社長）、Intelligence Design（東京都渋谷区、中澤拓二社長）は、長野県飯田市とリニア時代を見据えた都市サービスへのデジタル技術の実装に向けた連携協定を結んだ。

飯田市が目指す「いいだ未来デザイン2028」「リニアがもたらす大交流時代を見据えた飯田市のまちづくり」に貢献するため、デジタル技術実装へ連携

リニア時代の都市サービス高度化

具体的には、サイバー空間での自動運転車の導入評価や、リニア中央新幹線駅を中心とした地域の暮らしと一体となった地域公共交通サービスなど都市サービスの高度化検討と、リニア駅の駅舎や交通広場、駅周辺の道路空間と交通処理などを含む、リニア駅を中心とした周辺地域まちづくりの検討、これらの取り組みを展開するための飯田市版3Dデータ連携基盤の構築とそのさらなる活用に向けた検討を進める。

14日に同市役所で開かれた協定締結式では、佐藤健市長とオリエンタルコンサルタンツの野崎秀則社長ら3社のトップが協定書を取り交わした。写真。